

# 『自立支援を導く動作観察の ポイント』

株式会社 シャカリハ

Social Re-Habilitation Design.inc (S.R.H.D.)

代表取締役 三浦 浩史

[syakariha@gmail.com](mailto:syakariha@gmail.com)



## <今日の目標>

- ▶ 介護支援専門員が自立支援型ケアマネジメントを実践する際に、動作観察のポイントを知る
- ▶ 動作観察から課題の抽出、改善見込みの見立てができる
- ▶ 多職種連携で生活課題の検討と見通しの検討ができる

**「できない」ことばかり見える・・・**  
**「できない」こと以外は？**

- ▷ 「できない」ことは「できる」ようにならないの？
- ▷ 今「できている」けど、今後「できなくなる」ことは
- ▷ 「できる」と「できない」だけなのかな？

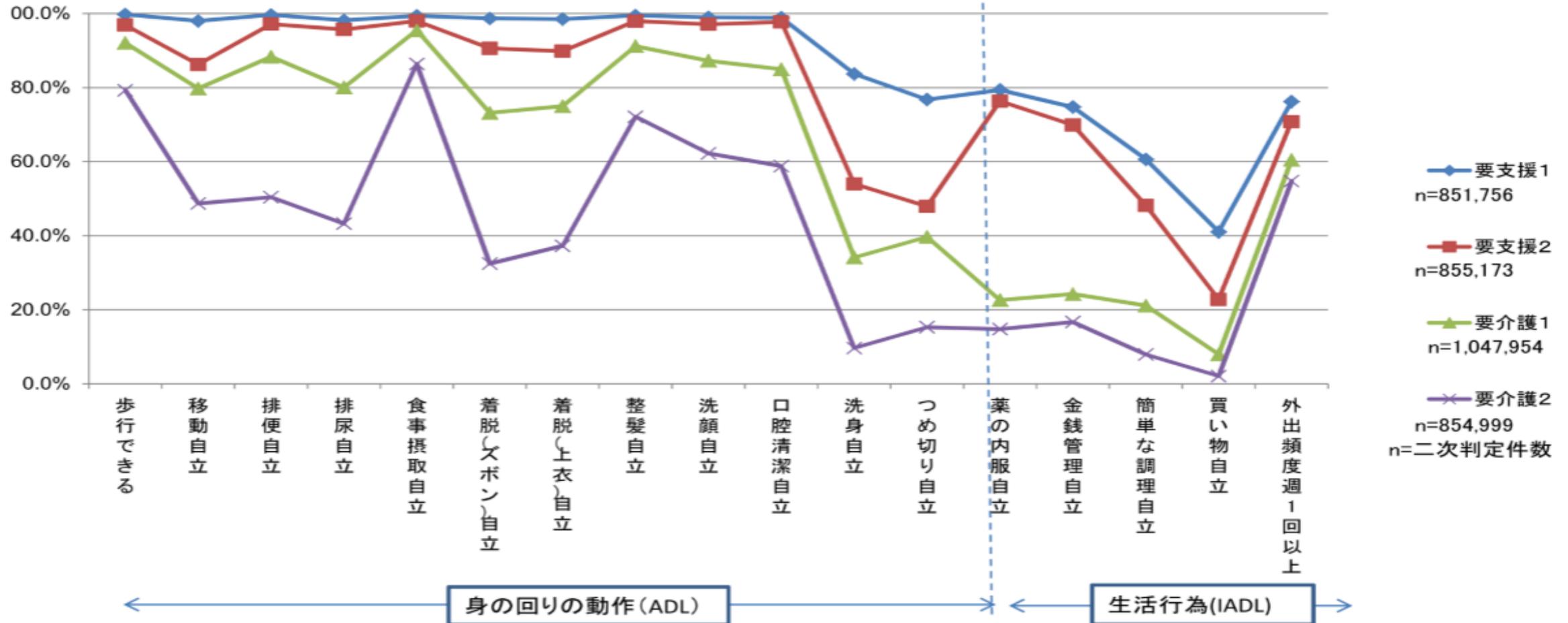


# 暮らしの困り事

- ▶ 見た目が気になって**外出しにくい**
- ▶ 目が乾燥して、**見にくい**
- ▶ 飲み物が口の右から漏れて**飲みにくい**
- ▶ 味が**わかりにくい**
- ▶ 噛む力が落ちたので肉など**食べにくい**
- ▶ **話にくい**

# (参考) 要支援1～要介護2の認定調査結果

要支援者のほとんどは、身の回りの動作は自立しているが、買い物など生活行為の一部がしづらくなっている。



※1 「歩行できる」には、「何かにつかまればできる」を含む。

※2 平成23年度要介護認定における認定調査結果(出典:認定支援ネットワーク(平成24年2月15日集計時点))

# (大阪府の特徴) フレイルの方が多い

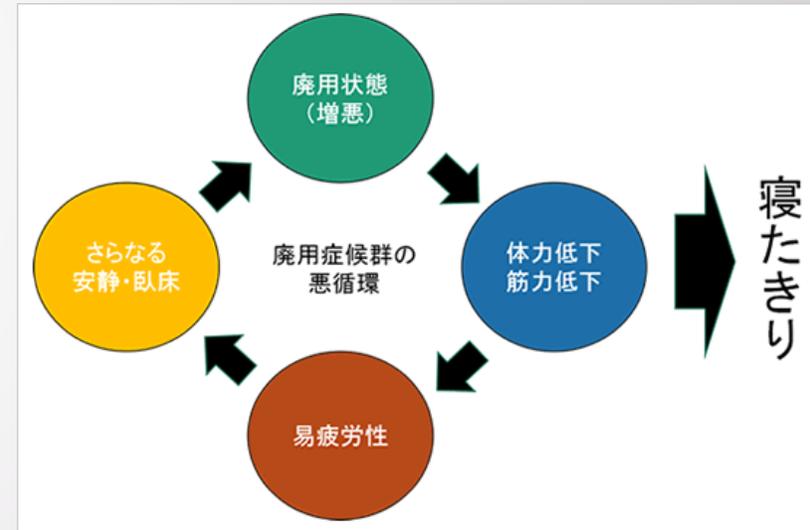
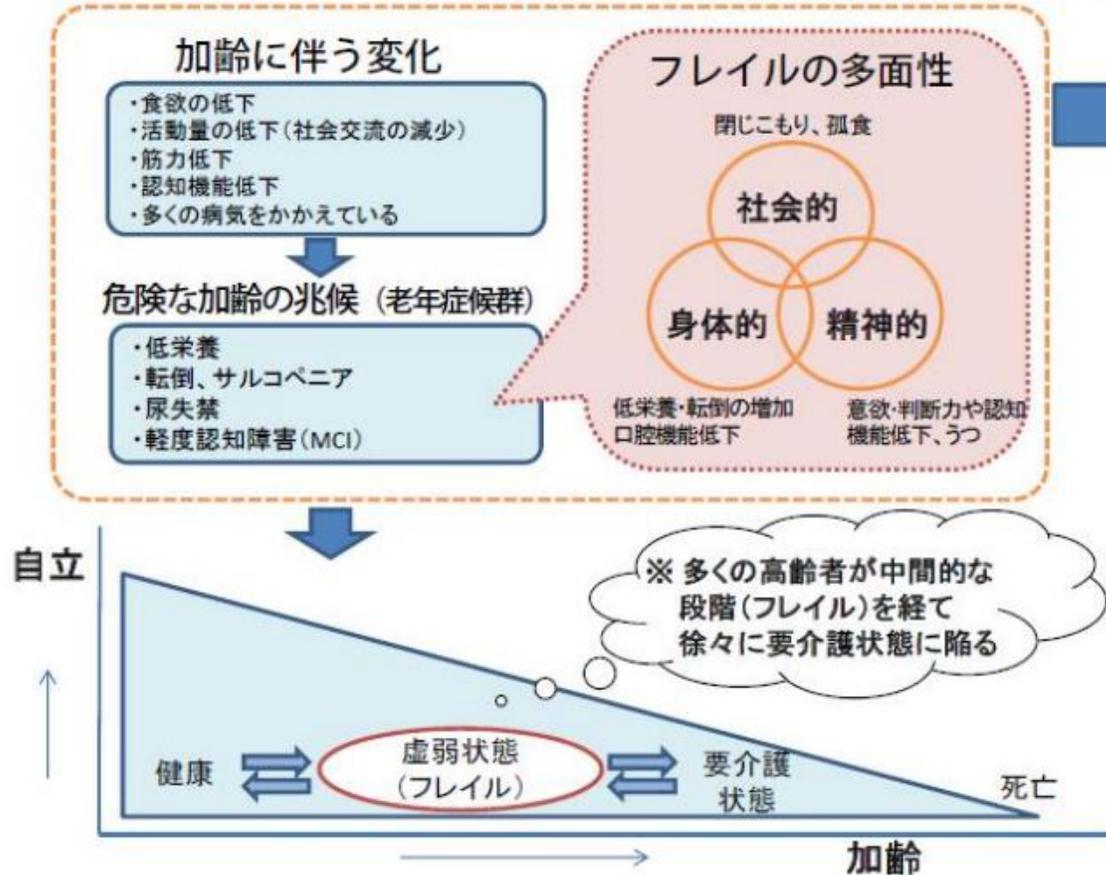
(参考資料)

【医療】健康づくり等

平成27年5月26日(火) 経済財政諮問会議塩崎厚生労働大臣提出資料(「中長期的視点に立った社会保障政策の展開」(参考資料))

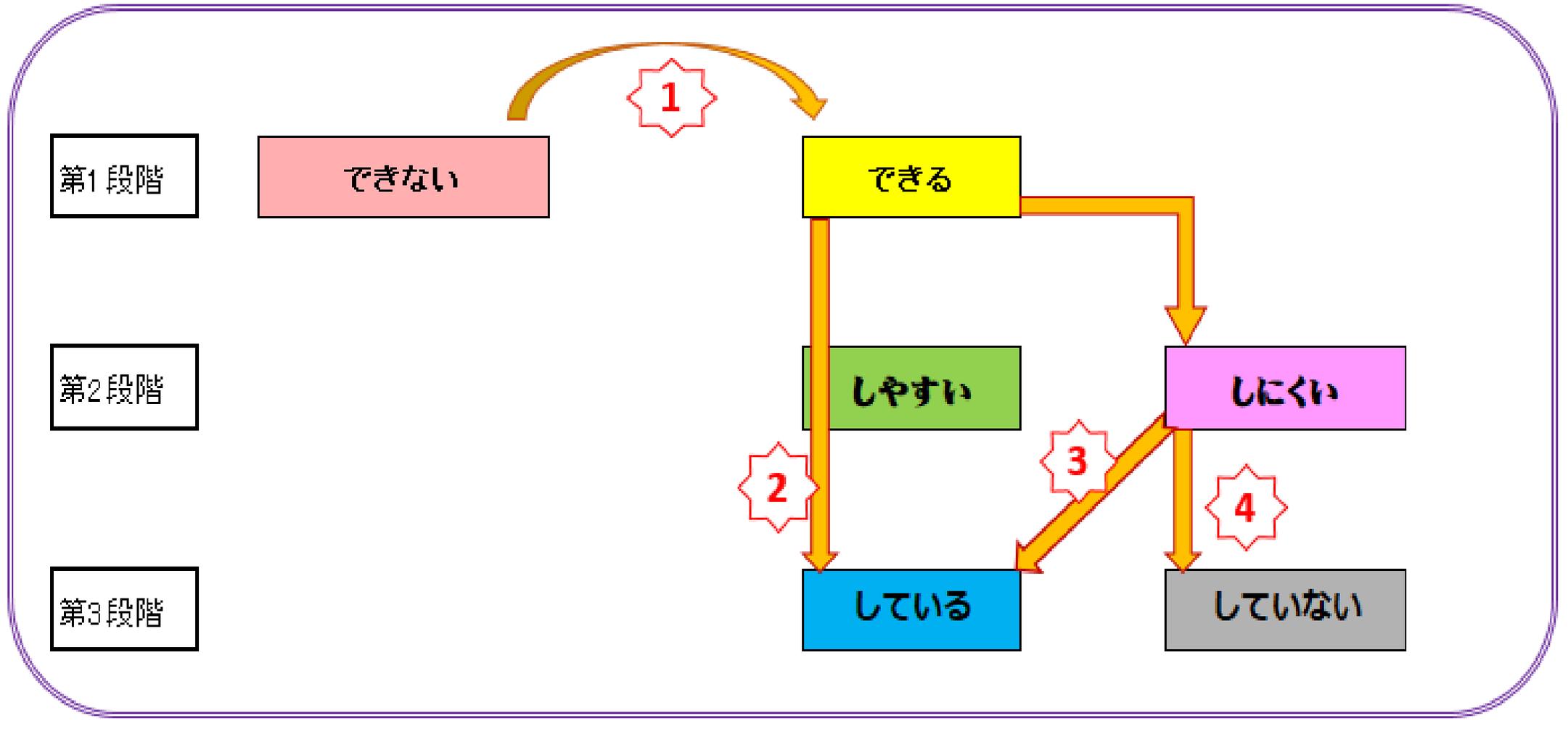
## 高齢者の虚弱(「フレイル」)について

「フレイル」とは 加齢とともに、心身の活力(例えば筋力や認知機能等)が低下し、生活機能障害、要介護状態、そして死亡などの危険性が高くなった状態。



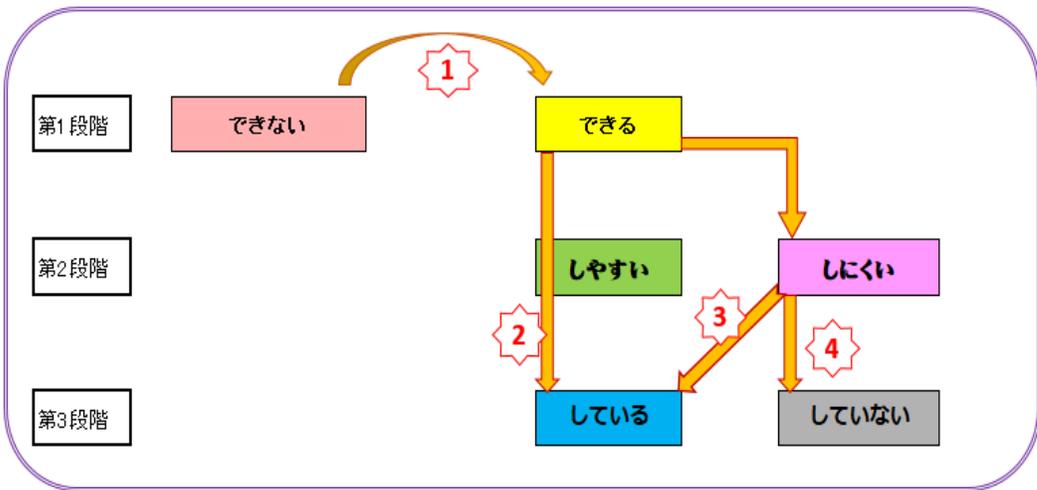
● 図1 廃用症候群の悪循環

## 動作を観る3段階活用



# 自立支援/重度化防止のポイント

動作を観る3段階活用



- ① 「できない」 → 「できる」    へ
- ② 「できる」 → 「しやすい」 → 「している」
- ③ 「できる」 → 「しにくい」 → 「している」
- ④ 「できる」 → 「しにくい」 → 「していない」